

# 放課後等ディサービス ぐりおくらぶの支援プログラム

2024年4月1日

放課後等ディサービスぐりおくらぶでは、お子さまが将来、周囲と調和し、周囲から必要とされ、生き生きと力を発揮して自分らしい社会生活を送れるよう、以下の5領域にわたるアセスメントに基づいて、おひとりお一人の発達の段階や特性を踏まえた個別支援計画を作成し、以下の療育プログラムを通して総合的に支援します。これらの各領域はそれぞれ関連し、重なり合いながら、お子さまがたの発達・成長を形作ります。

- ・本人と共に検温や体調確認を行って**健康状態**を把握し、体調不良時には必要な**ケアや受診等**の支援をします。
- ・アレルギーがあるお子さまには、ご家庭や医療機関と連携して、可能な限り対応します。
- ・**基本的な生活動作**に加え、年齢相応の**身だしなみや生活マナー**のよりよい習得を、学習と実践で応援します。
- ・規則正しい**生活リズム**の維持、自分自身の**スケジュール管理**や**持ち物管理**など、**自己管理能力**の向上を支援します。
- ・掃除や洗濯、買い物などの**家事スキル**、電話の使用や公共交通機関の利用などの**社会生活スキル**を練習します。

感覚受容の調整、全身の**粗大運動**や手先の**巧緻性**の向上を図り、学校生活や将来の社会生活で、自信を持って活動・挑戦できるよう応援します。

- ・集団で行う「からだの活動」で高度な**協調動作**、**力やスピードの加減**などを練習
- ・集団活動の「工作」「調理」で**道具の使用**や**巧緻動作**を練習

成長の各ステージで求められる社会性の獲得や、将来の社会生活に必要な**対人社会性・マナー**、**感情や行動のコントロール**、**問題解決スキル**などを、一人ひとりの発達段階に合わせ、困り感に寄り添いながら支援します。

## 机上で行うSST(ソーシャルスキルトレーニング)

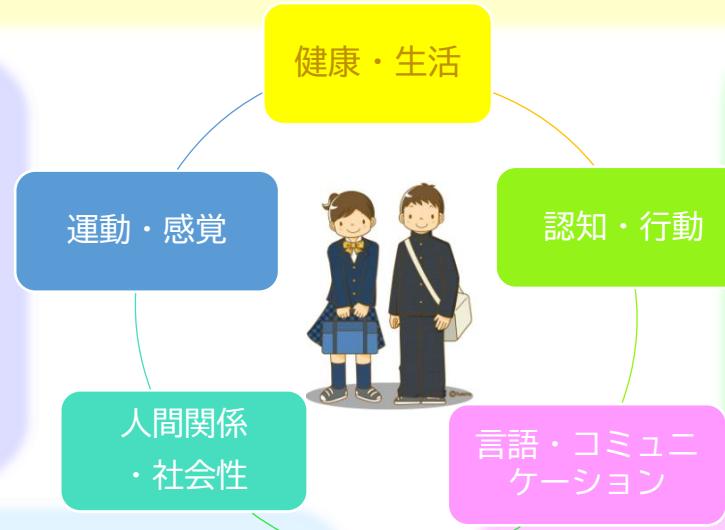
- ・他者視点、他者感情
- ・礼儀、マナー、常識
- ・問題解決学習

## 運動を通して行うSST

- ・衝動コントロール、対応トレーニング

## 実体験を通して学ぶソーシャルスキル

- ・協力、協調、献身、譲る、感謝、謝る、助けを求めるなど



**個別学習**を通して、日常生活で必要な学力の習得や、学校の授業・試験への対応を支援します。

- ・宿題の付き添い、プリント学習
- ・文字や数の概念、時間や日付、お金など
- ・ビジュアルトレーニング・作業課題

**集団活動**(創作・調理・クラブ活動)を通して、**情報を理解・記憶する力**、**目的を遂行する力**、**時間やペース配分**の力を育みます。

- ・情報の意味を捉え、関連づける
- ・見通しを立てて段取りを考え、実行する
- ・試行錯誤し、最後までやり遂げる

机上学習や、対人場面での実体験を通して、**言語・非言語のコミュニケーションスキルの向上**を応援します。

- ・**言語受容**の学習(聞いて理解・読んで理解・記憶する)
- ・**言語表出**の学習(使用語彙を広げる・論理的説明・文章表現)
- ・発達特性による**言語認知の偏り**やズレを修正(意図の理解)
- ・発達に合わせた**発語プログラム**、**非言語手段**の活用
- ・集団の中で行う**意思表示**、**相談**、**依頼**、**交渉**、**円満な拒否**、**イレギュラーな場面のやりとり**をフォロー